

**第2号議案**

---

---

**2007（平成19）年度事業実施報告の件**

---

---

## 2007（平成19）年度事業実施報告

### 1. 人材開発・養成事業

#### ①人材スキルアップコース事業（別表1参照）

2007年度の人材スキルアップコースは、10月集中月間として2007年10月17日～11月2日、2月集中月間として2008年1月30日～2月15日に実施しました。

受講者は、10月に5名参加し2月は8名の参加で計12名が修了しました。随時コースでは3会員で実施していただき7名が修了しました。

また、C-STEP内で実施しました庶務職コースでは、8名の方が修了しました。その結果人材スキルアップコース事業の全体の修了者は27名です。

この受講修了者は、会員からの求人（雇用）情報カードに基づき、優先的に職場見学会事業へ誘導してきました。

その結果7名が会員への就職を実現しました。（職場内実習エントリー33会員、内実施13会員）

#### ②アルバイト・パートコース情報人材開発事業

アルバイト・パートコースの情報契約を締結し、実習を1会員で1名実施しました。

一方昨年11月30日に「人材開発・養成事業拡幅検討委員会」を理事長の私的諮問機関として設置し検討していただいた結果、2008年3月27日に答申書を頂きました。

#### ◆人材開発・養成事業拡幅検討委員会開催状況◆

第1回検討委員会 2007年11月30日

議題：地域就労支援事業について、C-STEP人材スキルアップ事業について

第2回検討委員会 2008年1月25日

議題：失敗事例・成功事例、ニーズと克服点、骨子の提案について  
ワーキングチームの結成を決定

第3回検討委員会 2008年3月4日

議題：ワーキングチーム「骨子の試案」についての検討

第4回検討委員会 2008年3月25日

議題：（諮問）答申に向けた最終討議、答申決定

第1回ワーキング会議 2008年2月7日

議題：骨子等諮問事項についての具体的に討議

第2回ワーキング会議 2008年2月20日

議題：最終提案に向けての討議

（※詳細は、P18 答申を参照）

### ③受け入れ現場見学事業（別表2参照）

人材開発・養成（OJT）情報カードに基づき、受講者と受け入れ会員との見学会を実施しました。内容は、見学を含めて実習内容、実習評価などを双方で情報交換を行いました。今年度、各市町村を通じて、大阪府から推薦のあった支援対象者は合計32名にのぼりました。

### ④職場適応事業

昨年度、C-STEPを通じて会員へ就職された方の相談件数は18件でした。内容は、職場環境によるものや職場の人間関係、労働条件など多岐にわたるものでした。今年度も更なる職場定着に向けた職場適応相談を行います。

## 2. 就職マッチング事業

### ①職場見学会事業（別表3参照）

求人（雇用）情報カードを提出して頂いた会員の協力の下に、C-STEP事務局と「しごと情報の受付」を経て雇用実現をめざした職場見学会を開催し、就職促進へ導いてきました。対象者は、人材スキルアップコース修了者または、人材スキルアップコースの随時コースまたは、C-STEP事務局内の庶務職コース修了者でかつ大阪府の推薦者に対して行ってきました。その結果、求人（雇用）情報カード27件に対して、職場見学会の回数は21回行い14名の就職が実現しました。

### ②会員顕彰・認証事業

2007年度から新たにスタートとした、第3期「会員貢献度評価顕彰制度」について「第3期C-STEP評価・顕彰システム検討委員会」（以下委員会と称す）を開催しました。委員会では、2007年4月1日～2008年3月31日までの1年間を実績評価期間とした、第3期「会員貢献度評価制度」に基づく、評価顕彰会員部門賞について表彰会員の選定を当委員会で行いました。

#### ◆第3期C-STEP評価・顕彰システム検討委員

- 委員長 岸 好澄氏（大阪ガス株式会社）
- 委員 小頭芳明氏（クボタワークス株式会社）
- 委員 大西英雄氏（富士火災海上保険株式会社）
- 委員 佐田高樹氏（武田薬品工業株式会社）
- 委員 柳瀬 将氏（株式会社ビケンテクノ）
- 委員 中岡章良氏（大阪府商工労働部雇用推進室雇用対策課）
- 委員 細村慎一氏（大阪市市民局市民部就労支援担当）
- 委員 内海義春氏（社団法人おおさか人材雇用開発人権センター）

#### ◆委員会の開催日は下記の通りです。

第1回 2008年4月9日（水）

#### ◆第3期貢献度評価顕彰制度に基づく評価顕彰表彰会員

エントリー会員 353会員

部門評価顕彰表彰会員 41会員

なお、表彰会員は7月に予定されています、C-STEP 臨時理事会に報告後、8月に開催予定の C-STEP の総会で表彰させていただきます。

表彰会員一覧 (P16、P17)

### ③雇用問題研究会事業

C-STEP 会員サービスの一環として「障がい者の多様な就労支援のあり方」をテーマに厚生労働省、大阪府等の動向や行政施策を中心に開催いたしました。ここ数年で最も多い 286 会員の参加が得られました。また市町村会員からも 22 名の参加をいただきました。

#### ◆雇用問題研究会

日時 2007年11月27日(火)

テーマ「障がい者の多様な就労支援のあり方」

内容「障がい者雇用促進法改正と国の雇用就労支援策」

「大阪府の工賃倍増5ヶ年計画の概要」

「エルチャレンジの成果と課題、工賃倍増5ヶ年計画の活用方途」

「2007 地域仕事づくりフェアの概要」

報告者 長谷川雅一氏 (大阪労働局雇用対策課障害者雇用担当官)

佐藤 謙一氏 (大阪府健康福祉部施設指導グループ主査)

丸尾 亮好氏 (大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合)

C-STEP 事務局

## 3. 雇用・就職情報提供事業

### ①求人、人材開発・養成、求職者情報公開事業

「大阪府からの推薦者情報」、「人材開発・養成 (OJT) 情報カード、求人 (雇用) 情報カード」を始め、「人材開発・養成事業の修了者」の情報についてホームページを活用し情報公開しました。

### ②情報発信事業

C-STEP 事務局からの情報配信登録をしていただいた会員に向けて、事業案内等ホームページ更新情報を主としたお知らせメールを配信しました。

また、大阪府、大阪市をはじめ C-STEP 事務局に寄せられる DM 情報 (市町村会員と協働している NPO 法人等からの就職困難者等に対する多様な雇用、人材開発・養成の情報、関係機関・団体の事業案内等) についてもホームページを活用し、広く周知しました。

### ③会員情報拡大事業

会社概要届、市町村連絡票による会員情報の収集と情報更新(データベース化)を図りました。また、大阪府から推薦者情報の受理、求人(雇用)情報カード、人材開発・養成(OJT)情報カード収集、新規加入事業所対応、各事業の実現に向け延べ150件の会員訪問等を実施しました。

## 4. 職域開発事業

### ①労働政策研究事業

労働政策研究会の課題であった事柄のうち、主に3つのテーマに関して取組みをすすめました。1つは、人材開発養成事業の複線化のために、ソーシャルファーム・ショーシャルエンタープライズの汎用性のひとつとして「中間媒介組織」の活用や、有償インターンシップ、ジョブパスポート事業、派遣労働活用の是非、グループ請負の可能性の論議と専門家・学識経験者、企業、行政等の提案を進展させ、「人材開発養成事業拡幅委員会」の答申としての新事業の仕組みや、中間媒介組織にLLP方式を活用する若年無業者層への生活・就労の両面支援の準備活動などに具体化をすすめました。2つには「生活賃金」テーマの取組みとして、母子家庭の母の収入実態報告、少年院等退所者の自立への取組み報告、ホームレス自立支援法中間年調査に関する報告、生活保護自立支援事業の現況報告等とともに、大阪府の呼びかけで「第1回生活保障賃金、公契約のあり方、公正労働等検討会議」(07/12/6)に参画し、指定管理制度や委託事業における生活賃金のあり方検討をすすめています。3つには、学識経験者を中心とする「地域就労支援研究会」に参画し、大阪府をはじめ府下全市町村の協力を得て、地域就労支援事業の成果と課題の探究と他府県拡幅をテーマに「社会的排除指標」に関する調査をスタートさせました。また、福岡県や滋賀県の市町に対する取組み支援の作業に参画しました。

### ②雇用・就労支援相互交流事業

大阪府を通じての地域就労支援事業との連携では、府下のブロック別研修会と地域就労支援コーディネーター研修会へ参加し、相談の仕方やC-STEP事業の広報を行いました。

就労支援情報の交流に関しまして、43市町村および地域就労支援センターに対して延べ147回の訪問を行い情報交換を進めてきました。

### ③地域仕事づくりフェア事業

就職困難者等の地域での雇用・就労を促進するため、販路開拓、商品開発に向け会員とNPO法人や福祉授産施設等の交流の場とアウトソーシング機会を提供するため、2007「地域仕事づくりフェア」を、「企業と地域。出会いから始まる夢がある...」をメインテーマに「企業、探そう！社会貢献のパートナー・地域、見つけよう！ビジネスチャンス」をサブテーマに、当日は過去最高の56団体に出展していただき、750名の参加者で開催しました。

講演会では「障がい者と社会の架け橋」と題しまして、授産所の商品を「売れるものづくり」をめざし商品開発・販路開拓の「その道のプロ」と連携し高付加価値商品として大きな成果を上げているビジネスモデルについてご報告いただきました。出展団体、参加会員(企業)双方にとっての商談マッチングへのヒントをいただき得るものが大きいフェアとなりました。

◆開催概要

日 時 2007年12月7日(金)

場 所 クリエイション・コア東大阪

主 催 2007地域仕事づくりフェア実行委員会

C-STEP・大阪府・大阪市・東大阪市・八尾市・柏原市・東大阪市はたらく・くらすフォーラム実行委員会

後 援 大阪労働局・近畿経済産業局・関西経営者協会・大阪商工会議所連合会・大阪府商工会連合会・日本労働組合総連合会大阪府連合会

協 力 特定非営利活動法人おおさか若者就労支援機構

参加者 750名(会員・一般企業・NPO・福祉団体・行政関係者・就職困難者等)

出展者 56団体(社会福祉法人・NPO法人等)

内 容 ◆展示・商談会

就職困難者等の仕事づくりに取組む56団体のブース展開・商談会実施

◆アトラクション

ダンスパフォーマンス(NPO法人トイボックス「LOVE JUNX」)

◆活動事例紹介

フェアでのマッチング事例紹介

JFE継手株式会社(岸和田市)

障がい者雇用と地域交流

三洋商事株式会社(東大阪市)

清掃現場を社会適応訓練で活用

株式会社丸誠環境システムズ(東大阪市)

病院での知的障がい者雇用に挑む

大阪府済生会吹田病院(吹田市)

障がい者雇用を重視した総合入札制度創設

恩賜財団大阪府済生会(大阪市)

◆講演会「障がい者と社会の架け橋」

中條 桂氏(NPO法人トウギャザー理事長)

◆資料コーナー

各種支援機関・支援施策・NPO法人などの資料配付

◆東大阪市はたらく・くらすフォーラム実行委員会企画

障がい者パソコンガイダンス・障がい者就職面接会・地域就労支援相談

## 5. その他事業

### ①C-STEP 加入勸奨事業

就職困難者等の就労支援を通じて人権課題に取り組む社会貢献企業の拡大を図るために大阪府とともに府下の市町村を回り拡大の要請をするとともに、各市の企業人権協議会への説明の場を持っていただくようお願いしました。

### ②就職経験交流事業

就職者親睦組織「熱と光の会」の総会やニュース発行などの諸事業に対し支援しました。

### ③大阪府母子家庭等就労・自立支援センター事業の受託

シングルマザーの就労支援啓発リーフレットを作成し会員に配布し、会員のご理解と支援を引き続きお願いしました。また 2007「地域仕事づくりフェア」でも母子家庭の母及び寡婦の雇用を促進されるよう、雇用事例調査を基にパネル展示やチラシ配布で啓発を実施しました。

さらに、北摂地域におきまして雇用促進と啓発の両面の視点から母子家庭の母をはじめ就職困難者等の雇用・就労について「事業所ニーズ調査」アンケートを実施しました。

◆調査対象 北摂地域(豊中市・吹田市・箕面市)の391事業所

### ④大阪市地域就労支援事業の受託

大阪市から地域就労支援センターの運営事業を受託し、事業実施しました。

### ⑤障がい者雇用企業研修会事業

会員の障がい者雇用の促進に向け「障がいのある人の雇用機会の拡大に向けて」をテーマに精神・知的障がい者の具体的な雇用事例や支援事例を中心に大阪府と共催で研修会を開催しました。

#### ◆開催概要

日 時 2008年1月29日(火)

場 所 エルおおさか南館5階南ホール(大阪府立労働センター)

対 象 事業主・人事労務担当者・C-STEP 会員

参 加 者 167会員

事例報告「中小企業における障がい者雇用について」

大阪府雇用推進室雇用対策課課長補佐 湯本 保郎氏

「地域型企業において、知的障がいのある人と共に働く環境づくり」

株式会社山創 代表取締役社長 山本 恵子氏

「精神障がいのある人の雇用支援について」

NPO 法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 所長 金塚 たかし氏

## 6. 2006年度および2007年度に受けた C-STEP 仮登録者の動向について

以下は、2006 年度および 2007 年度に大阪府就労支援ケース連絡協議会からの推薦を受けた C-STEP 仮登録者の動向です。表にあります人材養成中および支援対象者については、引き続き 2008 年度の就職マッチング誘導者です。

支援メニュー	C-STEP 仮登録者	会員 就職	紹介就 職	その他 就職	支援機関 誘導	人材養 成中	就労支援 対象者
人材養成事業修了者	63	20	10	8	6	2	18
就職マッチングエントリー者	5	2	2				
合計	68	22	12	8	6	2	18

## 7. 2007 年度 訪問・面談等実績件数

2007 年度 C-STEP 事務局が会員、関係団体等と連携調整をするために訪問および面談を行った件数です。

	企業	市町村	職業安定所	地域就労支援センター	府・市
訪問	138	21	18	13	5
会議	10	11			18
打合せ	30	25		3	27
その他	26	31	3	1	13
合計	204	88	21	17	63

### ◎別表1 <人材スキルアップコース 職場実習>

10月集中職場実習実施会員	実施人数
ダイキン工業(株)	1
グンゼ(株)	1
東海染工(株)	1
西日本旅客鉄道(株)	1
大和ハウス工業(株)	1

10月集中職場実習エントリー会員	募集人数
関西電力(株)	1
(株)ダイエー	複数名
(株)クボタ	1
住友電工(株)	1
JFE継手(株)	1
日本生命保険(相)	1~2

10月集中職場実習エントリー会員	募集人数
(株)モリタ	1
日東電工(株)	1
京阪電気鉄道(株)	1
イトキン(株)	1
前田建設工業(株)	1

2月集中職場実習実施会員	実施人数
関西電力(株)	1
(株)ダイエー	1
オムロン(株)	1
JFE継手(株)	1
パナソニック コンシューママーケティング(株)	1
(学)大阪歯科大学	1
日東電工(株)	1
関西国際空港(株)	1

2月集中職場実習エントリー会員	募集人数
(株)クボタ	1
ダイキン工業(株)	1~2
(株)IMAGICAウエスト	1
日本生命保険(相)	1~2
イオン(株)	1
イトキン(株)	1
大和ハウス工業(株)	1
資生堂販売(株)	1
積水ハウス(株)	1
(株)マイカル	1

<人材スキルアップ随時コース実施>

会員名	実施日時	内容	実施人数
日本生命保険(相)	2007/08/28~08/30	労務職就業体験	4
(株)レナウン	2007/11/21	コミュニケーション講座	2
東急リバブル(株)	2007/12/11	宅建資格取得講座	1

◎別表2 <2007年度 事業別 C-STEP 仮登録者>

整理番号	市町村ID	市町村名	年齢	性別	事業名
2007-0001	070175	大阪市	43	男	日本生命就業体験講座
0002	070254	〃	43	男	〃
0003	738	豊中市	40	男	〃
0004	2001-1	泉佐野市	46	男	〃
0005	554	豊中市	38	女	C-STEP 庶務職コース
0006	070390	大阪市	40	女	10月集中スキルアップコース
0007	070294	〃	35	女	〃
0008	730	豊中市	43	女	〃
0009	07-025	和泉市	27	男	〃
0010	100044	大阪狭山市	29	男	〃
0011	070431	大阪市	48	女	〃
0012	070445	大阪市	58	女	C-STEP 庶務職コース
0013	070498	大阪市	38	女	C-STEP 庶務職コース
0014	1-9	富田林市	21	女	C-STEP 庶務職コース
0015	556	豊中市	38	女	宅地建物取引主任者資格講座
0016	1-10	富田林市	26	女	C-STEP 庶務職コース
0017	070175	大阪市	44	男	職場見学会
0018	737	豊中市	52	男	〃
0019	070503	大阪市	57	女	2月集中スキルアップコース
0020	070494	〃	41	男	〃
0021	881	豊中市	34	男	〃
0022	659	〃	36	男	〃
0023	15	吹田市	38	男	〃
0024	1	高槻市	43	女	〃
0025	泉佐野市 2007-2	泉佐野市	50	女	〃
0026	1	貝塚市	27	男	〃
0027	100044	大阪狭山市	29	男	C-STEP 庶務職コース
0028	42	松原市	60	男	職場見学会
0029	070583	大阪市	25	男	2月集中スキルアップコース
0030	070592	大阪市	30	男	C-STEP 庶務職コース
0031	06-110	和泉市	31	女	C-STEP 庶務職コース
0032	07-031	和泉市	53	男	職場マッチング事業

◎別表3 <2007年度 C-STEP 求人（雇用）情報カード提出企業 一覧>

	会員 No.	企業名	職種	職場見学会日	事業名	マッチ ング
1	110	倉敷紡績(株)	技術職	2007年5月1日	人材スキル	充足
2	182	象印マホービン(株)	製品の解体・ 分別	2007年5月8日	人材スキル	充足
3	341	富士火災海上保険(株)	一般職		人材スキル	
4	216	オムロン(株)	事務	2007年5月30日	人材スキル	充足
5	845	西日本旅客鉄道(株)	事務	2007年7月10日	人材スキル	充足
6	1057	(社福)大阪自彊館	介護施設職員		人材スキル	
7	816	新光証券(株)	事務	2007年11月頃	人材スキル	
8	819	コスモ警備保障(株)	警備	2007年11月19日	人材スキル	充足
9	287	日本生命保険(相)	労務職	2007年9月11日	人材スキル (随時)	充足
10	1061	(株)ケイ・オプティコム	清掃	2007年12月4日	人材スキル	
11	491	(株)日建設計	一般事務	2007年9月13日	人材スキル	充足
12	805	日本山村硝子(株)	製造		人材スキル	
13	121	(株)ジェイテクト	製造	2008年3月10日	人材スキル	
14	628	(株)豊田自動織機	製造		人材スキル	
15	409	(株)レナウン	販売	2007年11月21日	庶務職コー ス	
16	893	理研計器(株)	製造		人材スキル	
17	889	日本アクセス(株)	一般事務	2007年12月12日	人材スキル	充足

	会員 No.	会員名	職種	職場見学会日	事業名	マッチ ング
18	433	(学)塚本学院	用務員	2008年3月13日	職場エン トリー	充足
19	1005	東急リバブル(株)	不動産売買仲 介営業職		人材スキ ル	
20	114	栗本商事(株)	水道用品の出 荷業務	2007年10月22日	人材スキ ル(随時)	充足
21	94	近畿日本鉄道(株)	清掃・庶務		人材スキ ル	
22	101	(株)きんでん	情報・通信工 事資材管理	2008年1月28日	人材スキ ル	充足
23	640	シャープマニュファク チャリングシステム(株)	社内清掃	2008年1月18日	人材スキ ル	充足
24	701	(株)ノエビア	現業	2008年3月13日	人材スキ ル	充足
25	164	住友電気工業(株)	技術職	2008年3月7日	人材スキ ル	充足
26	592	(株)IMAGICAウエスト	夜間受付	2008年3月6日	人材スキ ル	
27	207	大同生命保険(株)	一般事務		人材スキ ル	

【第3期 C-STEP貢献度評価・顕彰部門賞表彰会員一覧】

就職マッチング賞

会員No.	会 員 名
287	日本生命保険相互会社
819	コスモ警備保障株式会社
101	株式会社きんでん
182	象印マホービン株式会社
94	近畿日本鉄道株式会社
845	西日本旅客鉄道株式会社
114	栗本商事株式会社
640	シャープマニファクチャリングシステム株式会社
889	株式会社日本アクセス
868	東海カーボン株式会社
204	オムロン株式会社
491	株式会社日建設計

人材開発・養成貢献賞

会員No.	会 員 名
1204	クボタワークス株式会社
80	関西電力株式会社
845	西日本旅客鉄道株式会社
198	大和ハウス工業株式会社
116	ゲンゼ株式会社
1059	パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社LE関西社
204	オムロン株式会社
282	JFE継手株式会社
1005	東急リパブル株式会社
1166	学校法人大阪歯科大学
196	関西国際空港株式会社

【第3期 C-STEP貢献度評価・顕彰部門賞表彰会員一覧】

会員貢献賞

会員No.	会 員 名
94	近畿日本鉄道株式会社
32	大阪ガス株式会社
1037	国際警備保障株式会社
108	株式会社クボタ
18	イトキン株式会社
805	日本山村硝子株式会社
893	理研計器株式会社
1005	東急リパブル株式会社
491	株式会社日建設計
943	SMBCセンターサービス株式会社

C-STEP Plus賞

会員No.	会 員 名
1176	株式会社美交工業
1204	クボタワークス株式会社
94	近畿日本鉄道株式会社
108	株式会社クボタ
1060	アルインコ株式会社
115	株式会社栗本鐵工所
288	日本毛織株式会社
204	オムロン株式会社
1175	株式会社サクセス
259	三菱UFJ信託銀行株式会社
77	クラシエ・ホールディングス株式会社
156	イオン株式会社
649	JFEスチール株式会社
570	持田製薬株式会社
312	ハウス食品株式会社
660	石塚硝子株式会社

# 答 申 書

2008年3月

人材開発・養成事業拡幅検討委員会

# 今後の人材開発・養成事業の拡幅検討について

## 諮問事項

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 新人材養成コースについて</li><li>(2) 新人材養成コースの具体的な仕組みについて</li><li>(3) 新人材養成事業の対象者と進め方について</li></ul> |
|---|

### 1. 新人材養成コース事業の趣旨・目的&コンセプト …諮問事項（1）

#### （趣旨・目的）

①C-STEPの人材養成事業の核となっている「人材スキルアップコース事業」は、一定の成果を生みつつも、制約・限界、課題（例えば、「無償」、「4週間」、「フルタイム」など）が存在する。

例えば、就職困難者等の多様性やニーズの多様化の中で、「困難者の“がんばり”への期待」だけでよいのか、あるいは「期間内でスキル習得や働く自信の獲得が困難な受講生が存在すること」にどのように対応するのか、といった課題がある。

②そもそも、働く能力とは、働くことを通じて培われるものが大きく、また、働くことは経済的自立を伴うものであり、経済的困難者をも包摂（インクルージョン）する人材養成システムが必要と思われる。

③現状の「人材スキルアップコース事業」は、今後も継続・発展させていくこと並行して、先の課題等に対応した新たな人材養成コースの創設（C-STEPの人材養成事業の“複線化”、“拡幅”）が求められている。

#### （コンセプト）

①普通に（実際に）働くことにより、支援対象者自らが自己のキャリアアップにつながる人材養成スキーム

②会員企業は、実習生として実習指導するのではなく、期間限定雇用（普通のパート・アルバイト・契約社員など）として活用する（「求人情報」取扱い）。

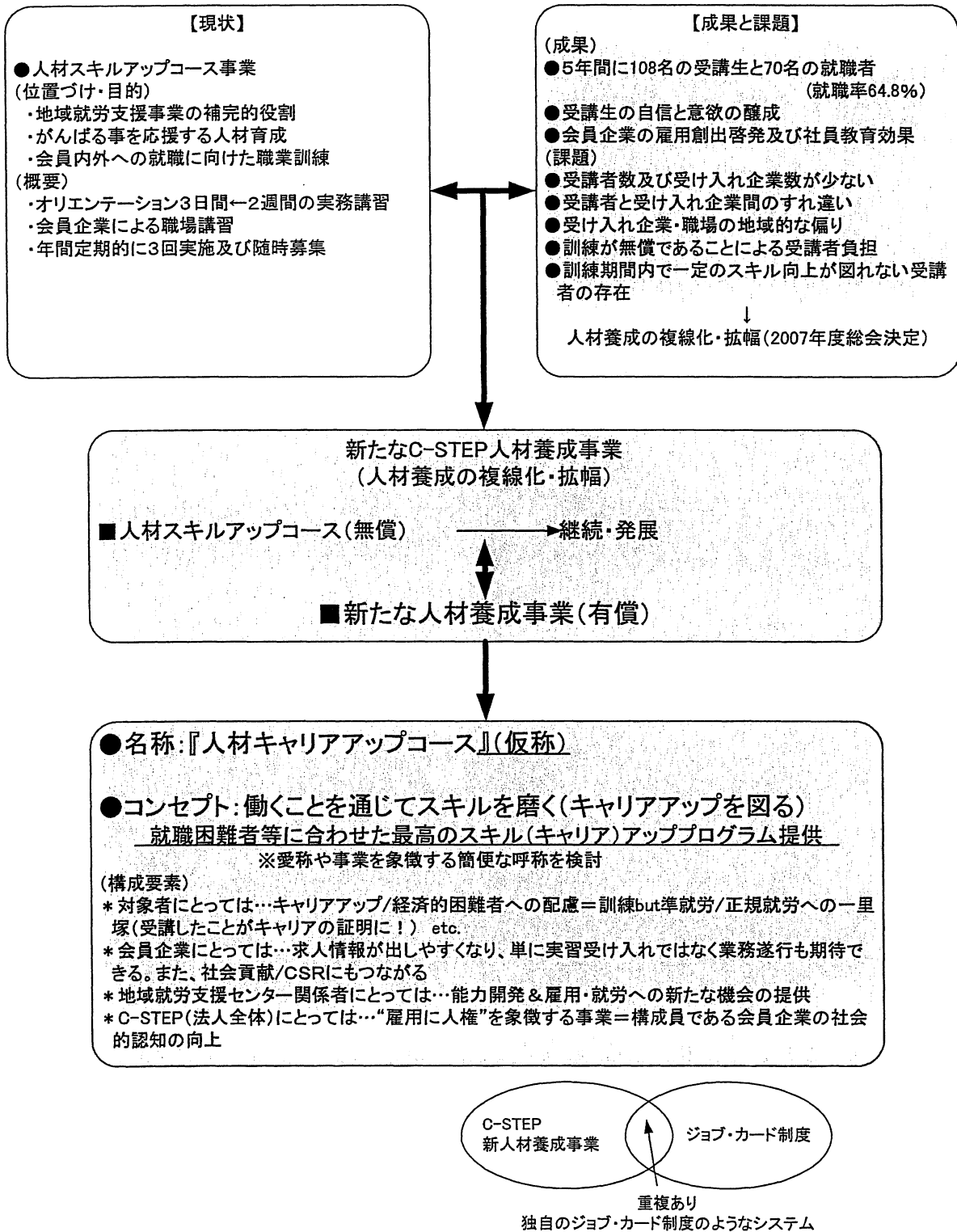
耳障りのよい、コンセプトの体現可能なキャッチフレーズ

（例）

～働くことを通じてスキルを磨く（キャリアアップを図る）～

～就職困難者等に合わせた最高のスキル（キャリア）アッププログラム提供

図 新入材養成コース創設フロー



## 2. 新入材養成コース事業のスキーム … 諮問事項（2）

※以下「新入材養成コース」＝「人材キャリアアップコース」（仮称）とする。

### (1) 会員企業における受け入れ実施過程

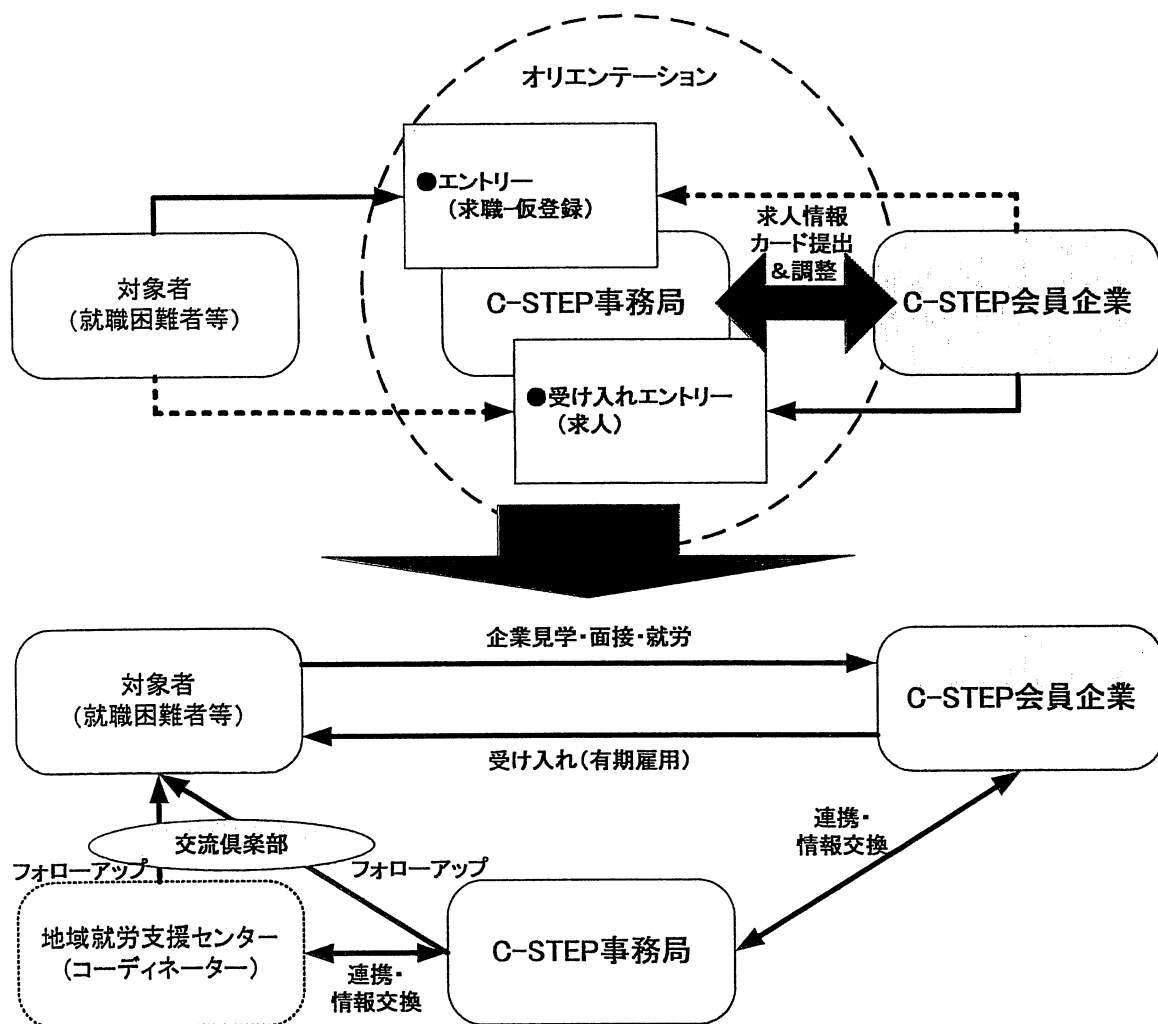
「人材キャリアアップコース」（仮称）事業における求職者（受講対象者）と関係機関との関係は概ね下図に示すとおりである。

※「対象者（就職困難者等）」については下記のA、Bを想定する。（「3. (1) 対象者」（7頁）参照）

A. 人材スキルアップコース修了者で「人材キャリアアップコース」（仮称）を希望した人（登録しオープンにする）

B. 「人材キャリアアップコース」（仮称）を希望する人

図 会員企業における受け入れ実施過程

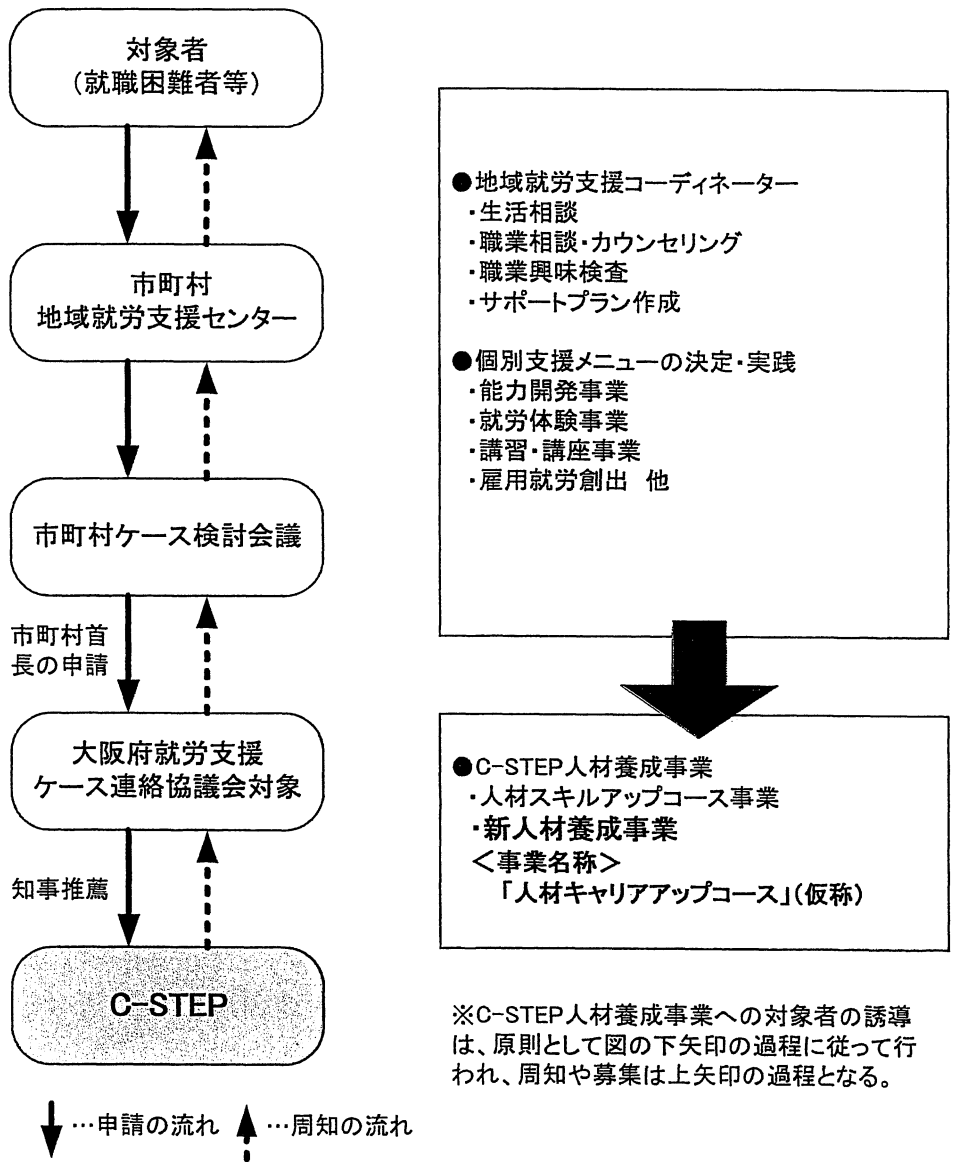


※交流倶楽部は、「人材キャリアアップコース」（仮称）受講者の経験交流や親睦を目的に定期開催する。C-STEP事務局や地域就労支援センターの側からは受講者のフォローアップ（相互交流・ピア役割・グループフォロー等）の位置づけを持たせる。

(2) 「人材キャリアアップコース」(仮称) 事業への誘導及び周知・募集過程

「人材キャリアアップコース」(仮称) 事業への誘導及び周知・募集過程は、地域就労支援事業の中で現在の「人材スキルアップコース」事業と同様の位置づけとなる。

図 「人材キャリアアップコース」(仮称) の位置づけ



### (3)「人材キャリアアップコース」(仮称)・プログラム

#### ①基本的考え方

- 最初の導入教育は、ソフトランディングを図る観点から、冒頭オリエンテーションをおこなった後に、キャリアアップ訓練に入る
- 養成期間(雇用契約期間)は、受講対象者のステップアップに応じて可変的プログラムとする
- 養成プログラムは、受講対象者の状況に応じて適宜変更・修正する(柔軟な取組)

#### ②オリエンテーション時(雇用の前段階)のプログラム(例)

- a.導入オリエンテーション
- b.必要に応じて C-STEP 庶務職コース等への誘導
- c.就労先見学(受け入れ先企業)
- d.就労に向けた準備指導(対象受講者・地域就労支援コーディネーター・担当事務局職員など)

#### ③会員企業における雇用(キャリアアップ)

##### ○形態

有期雇用契約であること(パート・アルバイト・契約社員等)

##### ○期間、就業時間

- ・期間…原則3ヵ月更新(但し、最長1年とする)
- ・就業時間…求人情報カードに基づく  
(想定されるパターン)
  - a.フルタイム
  - b.30時間以上/週
  - c.20時間～30時間未満/週

##### ○労働条件

会員企業各社で現在行われているものに準ずる(社会保険等含む)

※ただし、応募者の個別事情に配慮して独自条件を設定することも可能

## ○ 12ヶ月のステップアップ（例示）

1年間で3区分に位置づけ、就職者（対象受講者）自身のキャリアアップのステップアップを仮設定すると、

### a.養成1期(ex.1ヶ月)…職場適応の取組み重視

（会員企業） ……導入教育・新人育成

（受講対象者） ……仕事に慣れる、規律習慣づくり

（事務局） ……仕事についていけるかの確認、職場適応指導

### b.養成2期(ex.9ヶ月)…スキルアップの取組み重視

（会員企業） ……課題や問題点の把握

（受講対象者） ……スキルアップ課題とその習得方法と方向性を見極め

（事務局） ……ステップアップのための相談（地域就労支援コーディネーターとの連携）

### c.養成3期(ex.2ヶ月)…仕事探しの取組み重視

（会員企業） ……評価作成

（受講対象者） ……仕事さがし、その焦点絞り

（事務局） ……キャリアデータベース化（情報発信）、求人開拓

## (4) 養成プログラムの運営に向けた対応

### ①オリエンテーションの充実

導入時期研修期を設けて、会員企業にスムーズに就労できるようにする。また、会員企業における養成期(雇用期間)においてもフォローアップやスキル習得のための取組みを設け、適正な就労維持(職場適応等)を図る。

### ②関係者相互間の連携調整

C-STEP 事務局の窓口担当を明確にし、会員企業、就職者(対象受講者)双方からの苦情・相談を聞き問題解決に努める。

### ③C-STEP 理事長名の認定証の発行

人材キャリアアップコースの修了者に対してキャリアアップの証明として、C-STEP 理事長名の認定証を発行する。

### 3. 新入材養成事業の対象者と進め方 … 諮問事項 (3)

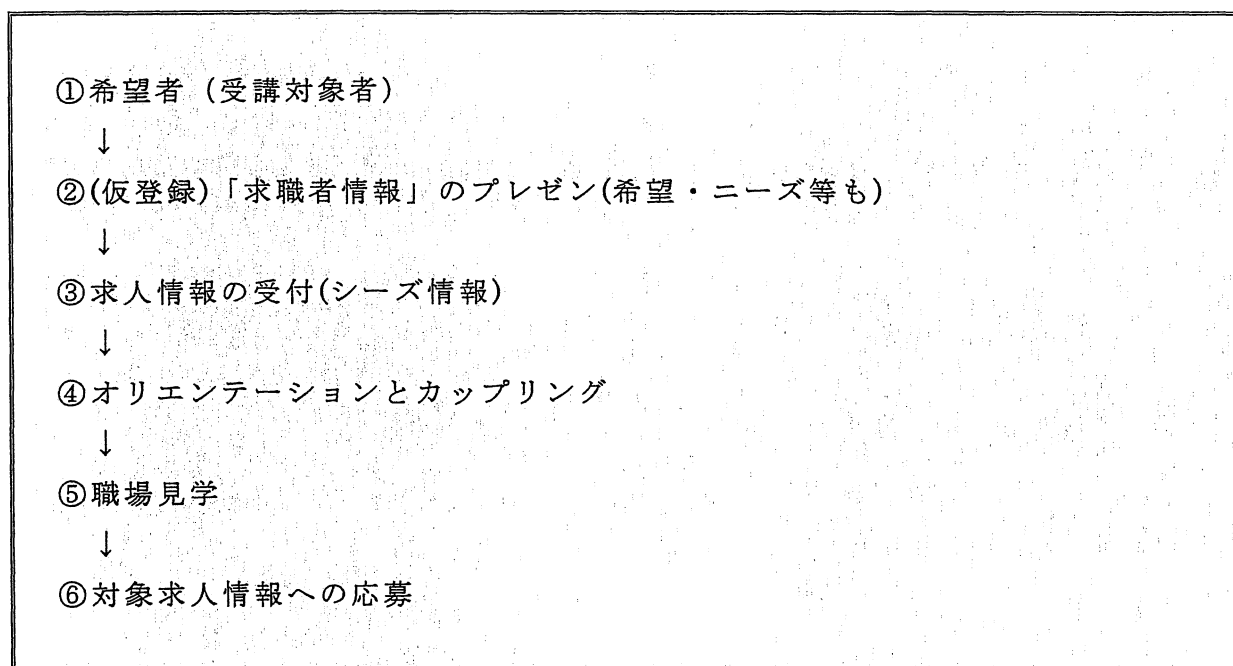
#### (1) 対象者

- A. 人材スキルアップコース修了者で「人材キャリアアップコース」(仮称)を希望した人(登録しオープンにする)
- B. 「人材キャリアアップコース」(仮称)を希望する人

※対象者は、

- ・大阪府ケース連絡協議会およびオリエンテーションにおいて、人材スキルアップコースの修了・未修了の区別により研修効果を確認する。
- ・C-STEP 庶務職コースを活用する場合もある。
- ・登録し、オープンにする。

#### フロー図



#### (2) 会員企業からの「人材キャリアアップコース」(仮称)への申出とその方法

- 上記「A」の仮登録者に対する会員企業から個別申出(「アルバイト・パートコース」の事業名称は定着)
- 地域就労支援センターへ向けた個別の人材養成メニューの提供

#### 4. 残された課題 …補足

- ① 同和問題・人権問題解決の方策であることのプレゼンの仕方
  
- ② 求職者にとってキャリアの中断にならないシステムとしての格上げ  
⇒ 履歴書への記載形式とその指導について、例えば「ネーミングによる事業名称を『資格欄』などに記載できるようにすべき」など
  
- ③ ②との関連において、受け入れ企業からの認証のあり方検討
  
- ④ 新規事業への会員企業の貢献度を鮮明にする手法  
⇒ 2008年度会員企業評価顕彰制度における正当な評価を期待したい
  
- ⑤ 希望者（受講対象者）ができる限り迅速に申請できる対応  
⇒ 地域就労支援事業における「市町村ケース検討会議」の活性化を期待

## 【人材開発・養成事業拡幅検討委員会開催状況】

## 第1回 検討委員会

日時 2007年11月30日(金) 午後2:00より  
場所 エルおおさか 本館 7階 706号室  
諮問 今後の人材開発・養成事業の拡幅検討について  
議題 ・ 地域就労支援事業について  
・ C-STEP 人材スキルアップ事業について

## 第2回 検討委員会

日時 2008年1月25日(月) 午後2:00より  
場所 エルおおさか 本館 7階 707号室  
議題 第1回検討委員会が出された案件について  
・ 「失敗事例・成功事例」  
・ 「ニーズと克服点」について  
・ 「骨子の提案」について  
ワーキングチーム結成を決定

## 第1回 ワーキング会議

日時 2008年2月7日(木) 午後1:30より  
場所 エルおおさか 南館4回セミナー室  
議題 骨子等諮問事項について具体的に討議

## 第2回 ワーキング会議

日時 2008年2月20日(水) 午前10:00より  
場所 エルおおさか 本館 7階 707号室  
議題 第1回に引き続き第3回検討委員会の提案に向けて最終的討議

## 第3回 検討委員会

日時 2008年3月4日(火) 午後1:30より  
場所 エルおおさか 本館 6階 研修室4  
議題 第2回検討委員会が出された案件について  
・ ワーキングチーム「骨子の試案」について

## 第4回 検討委員会

日時 2008年3月25日(火) 午後1:30より  
場所 エルおおさか 本館 6階 研修室4  
議題 (諮問)答申に向けた討議  
答申決定

## 「人材開発・養成事業拡幅検討委員会」設置要項

### (名称)

第1条 本会は、人材開発・養成事業拡幅検討委員会（以下「委員会」という。）と称する。

### (事務局)

第2条 委員会の事務局は、社団法人おおさか人材雇用開発人権センター（以下「センター」という。）内に置く。

### (目的)

第3条 センター定款第3条の規定に基づき、今後の人材開発・養成事業のあり方について検討する。

### (構成)

第4条 委員会は、前条の目的を達成するため、会員企業を代表する者、行政機関を代表する者、センター理事長が必要と認める者をもって構成する。

2 委員会の構成員は、別表1のとおりとする。

### (役員)

第5条 委員会に次の役員を置く。

- |          |    |
|----------|----|
| (1) 委員長  | 1名 |
| (2) 副委員長 | 1名 |

2 委員長は、委員の中から互選により選任する。

3 副委員長は、委員長が指名する。

4 第1項の役員に欠員が生じ、後任を選出する場合も同様とする。

### (役員職務)

第6条 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

### (委員及び役員の任期)

第7条 委員及び役員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じた場合における後任の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第8条 委員会は、必要に応じて開くことができる。

2 委員会は、委員長が召集する。

3 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に出席させ、発言させることができる。

4 委員会の庶務は、センターで担当する。

(報告)

第9条 委員長は、委員会の活動状況を理事会に報告する

(費用弁償)

第10条 委員及び役員における費用弁償については、別に定める。

附則

(施行日)

1 この要項は、平成19年11月30日から施行する。

別表 1

氏名	企業名	役職
木村 伸一	コスモ警備保障(株)	財務・総務本部 財務・総務グループ 人権啓発担当マネージャー
松岡 健司	近畿日本鉄道(株)	人事部長
鳥口 敬一	日の出証券(株)	人事部 人事課長
岡 正己	イトキン(株)	総務本部次長
山仲 良一	竹中工務店(株)	人事部 人事担当課長
佐田 高樹	武田薬品(株)	総務人事センター 人事グループマネージャー
水野 哲郎	(株)高島屋	人事部 能力開発採用担当次長
小川誠一郎	住友電設(株)	人事部長
安東 和敏	シャープ(株)	人事本部 人事部雇用開発担当部長
中岡 章良	大阪府商工労働部 雇用推進室 雇用対策課	課長
細村 慎一	大阪市市民局 就労支援担当	課長
内海 義春	社団法人 おおさか人材雇用開発 人権センター	専務理事